

もくぬゝる

水性 床用 2液ウレタン

標準塗装工程

◇ 仕 上 げ : 透明仕上げ

◇ 適用範囲 : 屋内木部床材全般(未塗装の場合)

工 程	材料・配合比(重量比)	塗装方法	塗布量(1回)	乾燥時間(20℃)
① 素地調整	サンドペーパー P180～P240 (または、ドラムサンダー P40～P100 及び、 ポリッシャー P120～P150 で研磨。全面平滑後、除塵)			
② 下塗り	水性床用2液ウレタン 主剤「SC-46」 硬化剤「SB-16」 水	100 20 0～10	刷毛 コーティングモップ アプリケーション 80～100 g/㎡	8時間以上
③ 研磨	サンドペーパー P320 ～ P400 (または、ポリッシャー P100 ～ P120 で研磨。 全面平滑後、除塵)			
④ 中塗り	水性床用2液ウレタン 主剤「SC-46」 硬化剤「SB-16」 水	100 20 0～10	刷毛 コーティングモップ アプリケーション 80～100 g/㎡	8時間以上
⑤ 研磨	サンドペーパー P320 ～ P400 (または、ポリッシャー P120 ～ P180 で研磨。 全面平滑後、除塵)			
⑥ 上塗り①	水性床用2液ウレタン 主剤「SC-46」 硬化剤「SB-16」 水	100 20 0～10	刷毛 コーティングモップ アプリケーション 80～100 g/㎡	24時間以上 (次工程:8時間以上)
⑦ 研磨	サンドペーパー P320 ～ P400 (または、ポリッシャー P120 ～ P180 で研磨。全面平滑後、除塵)			
⑧ 上塗り②	水性床用2液ウレタン 主剤「SC-46」 硬化剤「SB-16」 水	100 20 0～10	刷毛 コーティングモップ アプリケーション 80～100 g/㎡	24時間以上

- 攪拌はハンドミキサーなどによる機械攪拌を行って下さい。必ず主剤を攪拌しながら硬化剤を少量ずつ添加し、均一に混ぜて泡の巻き込みがないように注意して下さい。硬化剤を混合した塗料は濃過ぎて、泡を取り除いて下さい。
- 主剤に硬化剤を混合後、可使用時間を過ぎた塗料は使用しないで下さい。高温時(液温が高い場合)は可使用時間が短くなるので注意して下さい。
- 高耐久性が求められる体育館、スポーツフロアーなどには4回目の塗装(⑦～⑧)を行って下さい。
- 体育館などのスポーツ施設で使用する場合には上塗り塗装後1週間以上の養生をして下さい。
- 塗装前に汚れや付着物、旧塗膜は除去して下さい。
- 塗布量については1回塗りの目安として下さい。
- 塗装時は発泡に注意して下さい。刷毛塗りには水性塗料用の刷毛(ナイロン刷毛など)を使用して下さい。

特 長

- ★ 溶剤系塗料に匹敵する光沢性。
- ★ 耐摩耗性に優れる。
- ★ 透明感や耐ヒールマーク性に優れる。
- ★ 適度なノンスリップ性と弾力性で滑りにくく、足への負担が少ない。



品 番	主 剤 : SC-46 硬化剤 : SB-16
荷 姿	主 剤 : 14kg / 4kg / 1kg 硬化剤 : 2.8kg / 800g / 200g
配合比	100 : 20
適合規格	F 学 14 鉛 食 食品衛生法適合について 本規格適合のみでは、食品用器具及び容器包装 (直接食品と接する場所)への使用は出来ません。

適合規格アイコンの説明はP3をご参照下さい。

製品の
詳細はこちら体育館や店舗など高い性能を要求される
フロアーにご使用下さい。